１ 年 平 面 図 形 用 語 集 (1)

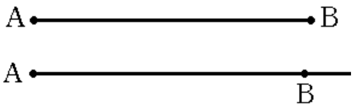
1年(　　)組(　　)番　氏名(　　　　　　　　　　　　)

§１　直線と角

（1）　2点A, Bを通ってまっすぐに限りなくのびている線を[　　　　　　]という。

直線 AB

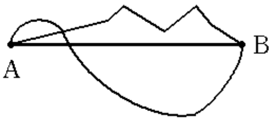
（2）　(1)の一部で、A , B を両端とするものを[　　　　　　]という。
この長さを[　　　　　　　　　]という。



線分 AB
2点 A , B の距離

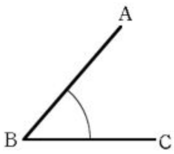
（3）　(1)の一部で、点 A を端として B の方一方にだけ伸びている線を
[　　　　　　]という。

半直線 AB



（4）　2点A, Bをつなぐ線のうち最も短いものを[　　　　　]という。

線分 AB



（5）　右の図のような角を[　　　　　]と表す。

∠ ABC （∠ CBA）

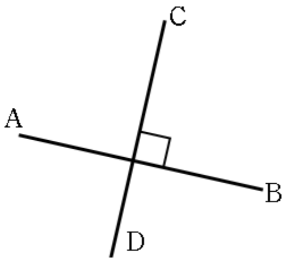
（6）　いくつかの線分で囲まれた図形を[　　　　　]という。

多角形

（7）　3点 A , B , C を頂点とする三角形を[　　　　　　]と表す。

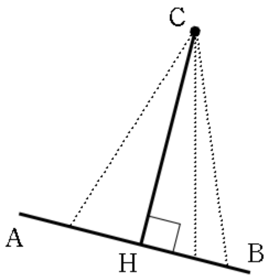
△ ABC

（8）　2直線 AB , CD が交わってできる1つの角が直角であるとき,
ABとCDは[①　　　]であるといい, [②　　　　　]と表す。
2直線 AB と CD が[①　　　　]であるとき,
一方を他方の[③　　　　]という。



①垂直　②　AB ⊥CD
(①垂直)
③垂線

（9）　右の図のように, 点 C から直線 AB に[①　　　]をひき
直線 AB との交点を H とする。
線分 CH は, 点 C と直線 AB 上の点を結ぶ線分のうち
[②　　　　　　　　　]である。
この線分 CH の長さを,
[③　　　　　　　　　　　]という。

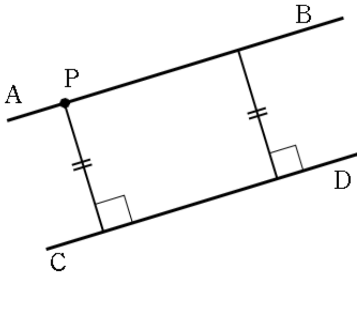


①　垂線
②　最も短いもの
③　点 C と
直線 AB との距離

（10）　2直線 AB , CD が交わらないとき,
AB と CD は[①　　　]であるといい,
[②　　　　　　　　]と表す。

このとき, 点 P を直線 AB 上のどこにとっても,
点 P と直線 CD との距離は[③　　　]である。

この[③　　　]な距離を
[④　　　　　　　　　　]の距離という。



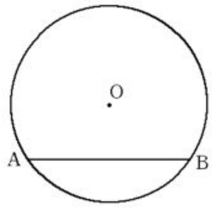
①　平行
②　AB // CD
③　一定
(③　一定)
④　平行な
2直線 AB,CD

１ 年 平 面 図 形 用 語 集（２）

1年(　　)組(　　)番　氏名(　　　　　　　　　　　　　　)

§２　円と正多角形

（1）　点Ｏを中心とする円を，[①　　　　]という。
円周上の点は，どの点も[②　　　　　　　　]が等しい。

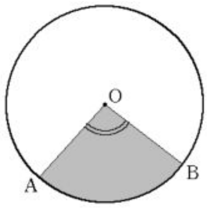


（2）　円周上に2点Ａ，Ｂをとるとき，ＡからＢまでの円周の一部を[①　　　　]といい，[②　　　　]と書く。

また $\overset{\frown}{AB}$ の両端を結んだ線分を[③　　　　]という。

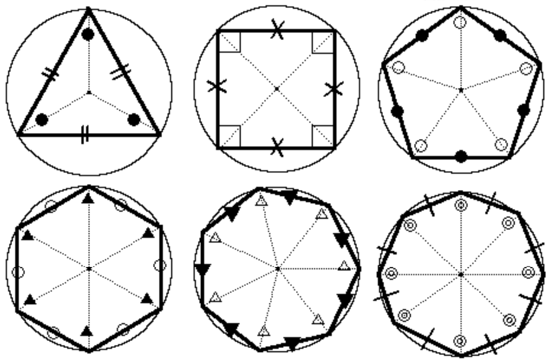
（3）　右の図のように，円Ｏの2つの[①　　　　]と[②　　　]で囲まれた図形を[③　　　　　　]という。∠AOBを[③　　　　　　]の[④　　　　]という。

∠AOBを $\overset{\frown}{AB}$ に対する[④　　　　]ともいう。



（4）　辺の長さがすべて等しく，
角の大きさがすべて等しい
多角形を[　　　　　　]という。

○　円をかき，中心のまわりの角 360°を等分する半径をひき円周との交点を順に結ぶと正多角形が作図できる。

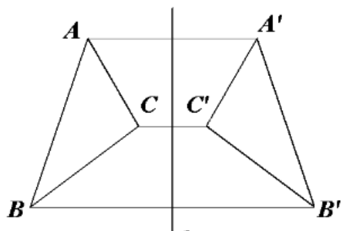


① 円Ｏ
② 中心からの距離
① 弧AB
② $\overset{\frown}{AB}$
③ 弦AB
① 半径　② 弧
③ おうぎ形
(③ おうぎ形)　④ 中心角
(④ 中心角)
正多角形
(左上から)正三角形、正方形(正四角形)、正五角形、(下段)正六角形、正七角形、正八角形

§３　対称な図形

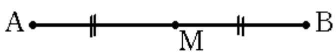
（1）　1つの直線を折り目として折ったとき，折り目の両側がぴったり重なる図形は，[①　　　　]であるといい，折り目にした直線のことを[②　　　　　　]という。

（2）　右の図で，△ABCと△A'B'C'は l を折り目にして折ると，ぴったり重なる。このように，2つの図形がぴったりと重なるとき，2つの図形は[①　　　　]であるという。
[①　　　　]な2つの図形で，重なり合う点，重なり合う辺，重なり合う角などを，それぞれ，[②　　　　　]点，[②　　　]辺，[②　　　]角などという。

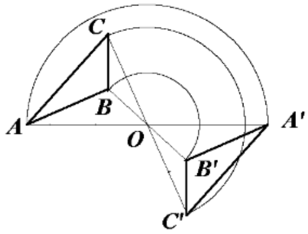


（3）　右上の図のように線対称な図形では、対応する2点を結ぶ線分は，対称の軸と[①　　　]に交わりその交点から、線分の両端までの距離は[　　　　　]。
つまり，対称の軸は，対応する2点結んだ線分の[③　　　　　　　　]である。

（4）　線分ABの両端からの距離が等しい線分上の点Ｍを，
線分 AB の[　　　　]という。



（5）　ある点を中心として 180°まわすと下の図形にぴったりと重なる図形は，[①　　　　　]であるといい，点Ｏを[②　　　　　]という。
このような図形では，対応する2点を結んだ線分は[③　　　　　]を通る。[③　　　　　]から，対応する2点までの距離は[④　　　　]。



① 線対称
② 対称の軸
① 合同
(① 合同)
② 対応する
① 垂直
② 等しい
③ 垂直二等分線
中点
①点対称
②対称の中心
③対称の中心
④等しい

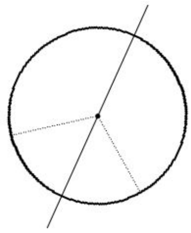
１ 年 平 面 図 形 用 語 集（３）・公式集

1年(　　)組(　　)番　氏名(　　　　　　　　　　)

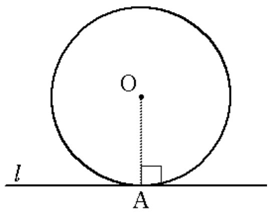
§３　対称な図形(続き)

(5)　円は線対称で,対称軸は[　　　]である。

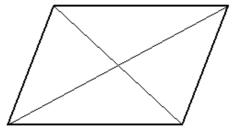
直径



(6)　右の図で，直線 l は円 O に[①　　　]といい
直線 l を円 O の[②　　　]，点 A を[③　　　]
という。



① 接する
② 接線　③ 接点

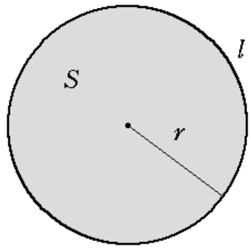


(7)　平行四辺形は[　　　　]を対称の中心として点対称である。

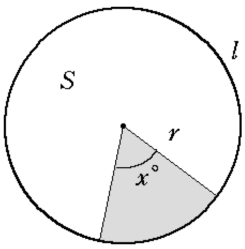
対角線の交点

§５　おうぎ形の公式

(1)　半径 r の円の周の長さを l，面積を S とすると,　$l=$[　　　　]
$S=$[　　　　]



$2\pi r$
πr^2

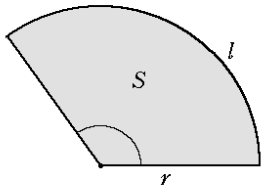


(2)　一つの円では,
おうぎ形の弧の長さや面積は,
その[　　　]の大きさで決まってくる。
左の図のように，中心角が $x°$ のおうぎ形の弧の長さや面積は
同じ半径の円の周や面積の [―――] 倍である。

中心角

$\dfrac{x}{360}$

(3)　半径 r，中心角 $x°$ のおうぎ形の弧の長さを l，面積を S とすると,



$l=$[　　　×　―――　]

$2\pi r \times \dfrac{x}{360}$

$S=$[　　　×　―――　]

$\pi r^2 \times \dfrac{x}{360}$

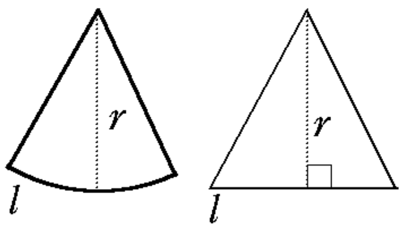
(4)　半径 r，弧の長さ l のおうぎ形の中心角 $x°$ とすると,　$x=$[　　　×　―――　]

$360 \times \dfrac{l}{2\pi r}$

(※5)　半径 r，弧の長さ l のおうぎ形の面積を S とすると,　$S=$[　　　　]

$\dfrac{lr}{2}$

イメージ　　底辺 l，高さ r の三角形の面積



$$S = \pi r^2 \times \frac{x}{360} = \frac{1}{2} \times 2\pi r \times r \times \frac{x}{360}$$

$$= \frac{1}{2} \times r \times 2\pi r \times \frac{x}{360}$$

$$= \frac{1}{2} \times r \times l$$